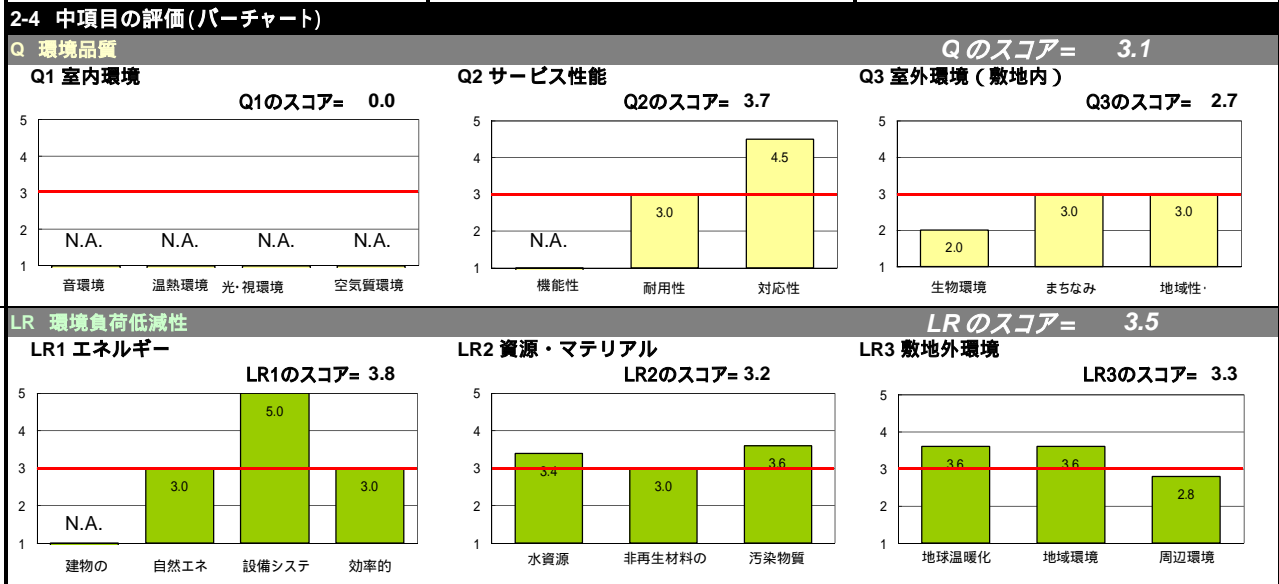
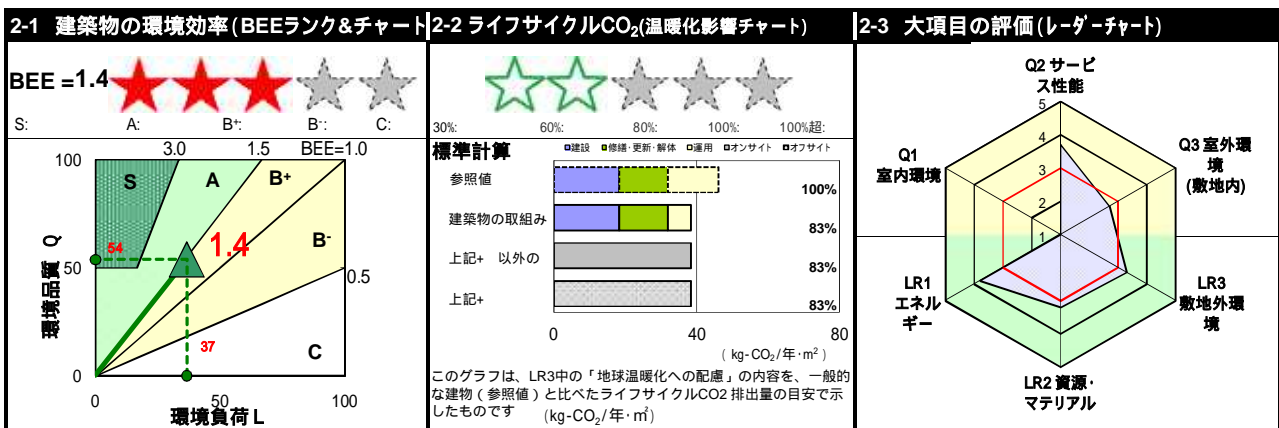


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木金田物流センター計画	階数	地上3階
建設地	神奈川県厚木市	構造	S造
用途地域	市街化区域、工業専用	平均居住人員	50人
気候区分		年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年7月 予定	評価の実施日	2013年4月12日
敷地面積	19,681 m ²	作成者	(株)フジタ
建築面積	10,638 m ²	確認日	2013年4月15日
延床面積	28,874 m ²	確認者	(株)フジタ

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
20%を超える平面緑化率を確保・建物後退距離の確保などを通し、敷地内の環境向上とともに、周辺環境にも配慮した配置計画・建物計画とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
-	余裕の有る階高を確保、将来の様様替えの際に、自由なプランを計画できるような配慮。 ゆとりのある床荷重。 非常用電源の設置。	十分な量の緑地を確保し、中高木を植栽することにより、日陰を確保し気温の上昇を抑制している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
主な照明器具に、効率の良いHf型蛍光灯を採用。	節水型水栓、便器の採用。 発泡断熱材は使用しない。	空調熱源、給湯熱源に電気式を採用し、燃焼機器の使用はしていない。 適切な量の駐輪場・駐車場、荷捌きエリアを確保した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される